

第 11 回市民会議まとめ

【第 11 回市民会議について】

- 第 11 回市民会議（書面開催）では「将来都市像・基本計画」について、皆さまから評価及びご意見をいただきました。次項の通り、ご回答いただいた評価及びコメントを一覧にまとめました。
- 本来であれば委員の皆さまと対面にて共有したいところではございますが、書面によるフィードバックとなります。今後、頂戴したご意見等につきましては、改めて庁内における検討会議で検討させていただき、基本理念は複数掲げ、将来都市像は 1 つに絞りたいと考えております。

基本理念（案）： 10 年間共通のまちづくりの基本理念

No.	基本理念（案）	説明（言葉イメージなど）
1	誰もがいきいき	老若男女だれもが健康で暮らせるようなまちをイメージ
2	安全安心な暮らし	市民の震災等への防災意識の高まりや、近年多発する異常気象などの災害時にも安心して暮らせることをイメージ。
3	持続可能な未来への希望と責任	SDGs の理念をイメージしたものであり、人口減少社会の中で、あらゆる分野に寄与する考え方。
4	共感・共創・協働	市民・団体・企業・行政がそれぞれの立場を越えた共感のもと、協力してまちを創ることをイメージ。
5	人と人とのつながりと信頼	誰もがフラットに繋がり信頼し合えることで、防災・子育て・介護など多分野において良い効果が生まれることをイメージ。
6	住むまちへの誇りの醸成	市民としての誇りを醸成し、最終的に上尾市に住んで良かったと実感できるものとしたいということをイメージ。

将来都市像（案）： 10 年後に目指す将来の都市の姿

No.	将来都市像（案）
1	元気と笑顔があふれる いつまでも住み続けたいまち あげお （説明：「元気」は健康・長寿、「笑顔」は幸せをイメージ）
2	みんなでつくろう 魅力がいっぱい 元気なまち あげお （説明：「みんなでつくろう」は協働などのイメージ、「魅力がいっぱい」は立地・人材・地域資源など良いものを掘り起こして市外に情報発信し人を呼び込むイメージ、「元気」は活気などをイメージ。）
3	誰もが希望を持てる 幸せ実感都市 あげお （説明：「希望」は明るい未来をイメージ、「幸せ実感」は幸せを実感できるまちにしたいという思い）
4	安心して健幸に住み続けられる 快適居住都市 あげお （説明：「安心」は災害・子育て・老後など生活するうえでの安心感、「健幸」は“健康”と“幸福”を掛け合わせた造語、「快適居住」は自然が多く交通の便も良い快適さをイメージ）

基本理念（案）に対する評価・意見

各委員から、基本理念（案）に対する評価を５段階評価でいただき、評価の平均点を記載しております。委員とＰＴの意見・コメントを一覧にまとめました。

○基本理念No. 1 **誰もがいきいき**（平均点 ３．７７）

意見・感想	
【肯定的なご意見】 <ul style="list-style-type: none">・当然にあった方がよい・分かりやすく良いと思う。・無難ですが、心も身体も健康である感じが出ていて良い。・健康で元気さを感じ、明るく生活できそうなイメージ・多世代が健康で元気のイメージ（生産年齢も伸びる）があり良いと思う。・何よりも健康が第一。いきいきが健康のみならず活気が満ちている感もあり、すべてに共通する言葉だと思う。・言い尽くされた感はあるが、何度でも繰り返して言うべき・そうありがたい基本的なこと	【その他ご意見】 <ul style="list-style-type: none">・基本理念としては当たり前のイメージ。・若者中心の街づくりを望む。・平凡・「健康で」とかを付けると非常に良いのでは・もし変えたとしたら「みんなが主役」・「誰もが」で、全部一律に均されてしまっているところが気になる。 （赤ちゃんが大事にされるまちは、すべての人にとって、やさしいまちに、そして、だれもがいきいき生きていけるまちになるのではないかと思います。「誰もが」と言ってしまうと、赤ちゃん・子どもも入っているのか、人々の意識にあるかどうかかわからないようにも思うので、「赤ちゃんから大人まで誰もがいきいき」というように、言葉としても入れたほうが良いように思います。）

○基本理念No. 2 **安全安心な暮らし**（平均点 ３．７７）

意見・感想	
【肯定的なご意見】 <ul style="list-style-type: none">・安全・安心な暮らしがあって、その上にいきいきとした生活が築ける。・地震や風水害に加えコロナまで。安心安全は、はずせない。・昨今の災害事情などをみてもここを重要視する市民は多い・近年の世の流れから、いれるべき理念の一つのためよいと思う。・市民アンケート結果でも上位に選ばれており、必要な理念であると感ずる。・そうありがたい基本的なことである。・最近よく言われる言葉だが防災の充実の点では良いと思う。予期せぬ災害にも備える上尾市の方針を基本理念とする点で評価。・無難ですが、安全安心な暮らしは大切なので良い。	【その他ご意見】 <ul style="list-style-type: none">・市民生活の根幹部分だが、使い古されている感がある。・上尾の環境にそった独自の防災を検討すべき・「安心」が先にあるといいかと思う。・安心安全に入れ替えたほうが良いかなと。・目指すことはできても、叶うことはないように思うが、目指すのは大切。・通常誰もが安全安心なことを感じておりフラットなイメージ。・もう少し説明が必要・（代案）緑ゆたかな安全・安心な暮らし

○基本理念No.3

持続可能な未来への希望と責任

(平均点 3.77)

意見・感想	
【肯定的なご意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・SDG s の理念は取り入れる方が良いと思う。 ・2030年までの国際社会の目標（SDGs）と合致して未来に向かうイメージ ・SDG s の理解をもっと市民に広げ、17の目標にそった議論・勉強を進めるべき ・将来に向け、住民として更なる努力を湧き上がるイメージ ・SDG s の年次 2030 年と重なることもあり、取り入れたい視点 ・時代に沿った考え方で、必要だと感じた。 ・SDG s の要素も入っており良い ・これからの計画には必要な理念。 ・「持続可能な」というところは大事かと思う。 	【その他ご意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・少し固い感じ ・公共の役割としてももちろん考えていくべきだが、SDGS といってもまだピンとくる人は少ない。 ・読んだときにイメージが少し掴みづらいように思った。（特に「希望」が何をさすのか） また、「持続可能な未来」やSDG s の理念は総合計画全体に係る大きなテーマかと思うので、他の項目と性質が異なるように感じた。 ・行政が責任をもつ意味で希望、安心感が与えられるのでは ・他の理念と比べても、少し抽象的な印象を感じた。 ・「希望」は無くても意味は通じそうな気がする。「責任」だけの方が強いイメージが出せていいと思う ・SDG s をそのままズバリ入れることに違和感あり ・わかりにくい ・「責任」という言葉が強すぎる。 ・責任というワードは重い ・SDG s の観点は必要だと思うが、「持続可能」を別の分かり易い言葉に置き換えられないか。 ・SDG s の理念が私には理解できない。人口減少の中で地方の中核都市として訴求できるイメージに結びつかないと感じた。

○基本理念No.4

共感・共創・協働

(平均点 3.80)

意見・感想	
【肯定的なご意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・第5次でも二つの文字熟語で表現しているので、良いと思う。 ・住み続けるには必要不可欠な要素だと思う。 ・「共創」という言葉を初めて知り、目に留まった。 ・共感、共創が、市民も巻き込んだまちづくりというイメージ ・一人一人が自立して参加参画することが大切 ・理想的な市のイメージがする。 ・簡潔で良い ・みんなで創り上げていこうという理念が伝わる。 ・協働の視点は不可欠 	【その他ご意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字ばかりで固い。 ・わかりにくい ・「共創」という言葉にあまりなじみがない。 ・一般的 ・どのように具体的にできるのか、言葉だけでなくやれたらと思う。 ・「共」「共」「協」という感じの並びがやや気になる。（全部一緒か全部違う方がバランスは良いかも…ただ適当な漢字が思いつかないので、現状でも良いとは思いますが。） ・相互につながり、ともに協力の大切さを思うことは常に感じている。 ・そう掲げていても上尾はまだ官民の連携体制が弱い印象にあるのでどこまで実現できるのか

<ul style="list-style-type: none"> ・イメージが湧きやすく、響きが良いと思った。 ・様々な形の協力を表現していてよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のイメージでは基本理念ではなく手段ではないかと思う。 「共感・共創・協働」→「みんなで感じ・考え」など。 ・この表記はどこか他の地域で既にみたような言葉であり、今後10年を考えた理念としては他の言葉が良いと感じました。
---	---

○基本理念No.5 **人と人とのつながりと信頼** (平均点 3.86)

意見・感想	
【肯定的なご意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・毎日顔を合わせなくても、誰かとつながっているという安心感のある社会。 ・地区と連携した体制は2の安心安全の対策と共に早急に組み立てていく必要があると思う ・住み続けるには必要不可欠な要素だと思う ・多世代、コミュニティのイメージがあり良い。協働にもうまく繋がっているのでは。 ・人と人とのつながりの希薄化が進むなか、とても大切な要素だと思う。 ・信頼していける人との関係がつくれていたら本当にいいと思う。 ・市民間の大切さは人とのつながりで人間性が豊富になりそうである。 ・10年後の超高齢化社会には必要 ・ほんわかとしていて、基本理念としては良い ・内容のイメージは持ちにくい、中身は作りやすいかもしれない。 	【その他ご意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・信頼あってこそ人とのつながりなので、「信頼」はいらないかと。 ・漠然としたイメージだが、実際に事業を進めるうえで「協働」しないと意味がない。 ・一般的 ・防災、子育て、介護など良い効果を生むイメージとしては良いが、基本理念としては暮らしと安全の簡素な表現等別の表現を支持。 ・No.1 及び No.2 と統合して別の表現で表せないか。 ・No.4 の「共感・共創」部分で代弁可。また、人同士の信頼は個人がつくるというイメージがあるため、基本理念に出てくると抽象的なもののように感じる。 ・防災・子育てに良いというイメージにあまり結びつかない。 ・指しているものの幅が広いので「平等」とか「住みやすい住環境」とか、もう少しストレートな表現でもいいと思いました

○基本理念No.6 **住むまちへの誇りの醸成** (平均点 3.79)

意見・感想	
【肯定的なご意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・住んでみて良かったという期待感が強い ・ここを強化できれば住民増は期待できると思う ・ここ数年の行政の状況を考えると入れたい気もする ・誇りの醸成から醸し出すイメージは伝統の継承と今後も継続する“時”から上尾市民が暮らしを作り出していこうとする意思を感じる基本理念として評価。 ・まちへの誇りを育んでいくという思いが、「醸成」という言葉に集約されているのかなと思う。 ・市民としての誇りや郷土への愛着を醸成することは、 	【その他ご意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・「誇り」という言葉と「醸成」という言葉がなじまない。 ・醸成が難しい感じがする ・感覚的にピンとこない ・一般的 ・誇りは自らの内から出てくるもので、外から何かをするのは少し違うと思う。 ・「誇りの醸成」を行政側がいうと押しつけのように感じる方がいないか少し心配に感じた。 ・「住むまち」の言葉の馴染みづらさが気になる。「誇りの醸成」という言葉

<p>地元を就職先として選ぶことや定住することにおいて重要なことだと思う。</p> <p>・まちを思う気持ち、大事なことだと思う。</p>	<p>が他項と違い堅苦しい感じがする。</p> <p>・「誇りの醸成」はフレーズとして仰々しい感じがする。「愛着」くらいでいいと個人的に思う。</p> <p>・住むまちへの誇りというより、住むまちが好き、上尾が好きくらいのトーンではどうでしょうか？ 住んでいる人以外にも、上尾が好きな人を増やす的な要素は必要ですか？ 全て住んでいる市民対象な感じですが…。</p> <p>・シビックプライドを意識した言葉ではあるが、重く感じる。「住むまちへの誇り」→「愛着（親しみ）が持てるまち」とか将来都市像に入るキーワードのような気がする。</p> <p>・「安全安心に住める」ということをさらに付け加えられたらさらに良い。</p> <p>・「郷土」「ふるさと」「地元」「住む」と取るとか？ 本当は今住んでいるところを指す良い言葉があればよいのだが…。「誇り」は「親しみ」「愛着」などの言葉でも十分なのは。</p>
---	---

○新たな視点・観点・フレーズ

意見・感想	
<p>・協働・共感・安全・信頼</p> <p>・みんなの協力でまちづくりができればよいと思う</p> <p>・多様性（多文化、国際化、フラットシティなど）にあたるものがないです。多様性は大切だと思います。</p> <p>・『あらゆる地域資源を生かすまちの活性化』（商業工業機能活性化、都市農業の発展、健康寿命の延伸、子育て支援、教育の充実などに及ぶまちづくりの方向性をイメージする）</p> <p>・基本理念をどのくらいの数掲げるかにもよるかと思いますが、、「持続可能な未来」「誇りの醸成」とその他（No.1、2、4、5）が、並べるには少し性質が異なるように感じました。大きなところで基本理念を掲げるなら、「安心安全」や「協働」などは、その下の「まちづくりの基本方向」に入っていれば良い内容という気もしました。</p> <p>・若い世帯をターゲットにするのであれば子育てに関するワードを入れた基本理念があると良いのではないかな。前回の計画より基本理念が増えているので、No.1、No.2 及び No.5 を統合してもよいと思った。</p>	<p>・なによりも堅い・難い言葉は使用せず、分かりやすく、親しみやすく、また抽象的な言葉は使用せず、意味がシンプルに伝わる必要がある、大切な事と思います。</p> <p>・基本理念も簡単に明瞭と思う。</p> <p>・『暮らしの安定とあふれる誇りの醸成』（2と4を合わせ暮らしの安全安心と伝統の中から生まれた街への愛着を誇りの醸成）</p> <p>・市民・団体・企業・行政すべてに責任があるという自覚が感じられる言葉が良いと思う。どんなに弱い立場の人であろうと街をつくっていく責任を持ってい（自分の立場で発言する）という自覚を持つ。</p> <p>・子育てに関する基本理念が少ない。「みんなで支える、みんなで育てる」など。</p> <p>・ソサエティ 5.0 で掲げるスマートシティなど情報都市のエッセンスがあっても良いのでは。情報がいきわたるイメージで「みんなが繋がる」など。</p> <p>・創造的、創作的、独自のなどの市の個性を掲げるのはどうか。「個性あふれる、創造的に発展」など。</p> <p>・市民主体、意見が届きやすいなどの基本理念があっても良いかも。「みんなで考える」など。</p>

将来都市像に対する評価・意見

各委員から、将来都市像（案）に対する評価を５段階評価でいただき、評価の合計点数を記載しております。委員とＰＴの意見・コメントを一覧にまとめました。

○将来都市像No.1 （平均点 3.91）

元気と笑顔があふれる いつまでも住み続けたいまち あげお

意見・感想	
【肯定的なご意見】 <ul style="list-style-type: none">・10年後に実現できていたら素晴らしいと思う・健康づくりを推進する政策を望みます・平凡ではあるが、住む人の最終目標はこれでは？・読みやすく、耳に心地良いことばの並びになっている・愛着あふれるまちづくりのイメージと元気と笑顔から長寿、子育て持続の流れが現れている点が良い。・イメージ先行だが、受け入れやすい・「健康」「幸せ」が容易に想像できる・やわらかくて読みやすい（イメージが湧きやすい）感じがして良い・将来都市像がイメージしやすく、わかりやすい・住民がずっと住み続けたいと思えるまちであることが良い・常識的でありふれた表現だが安定感がある。・明るく健康あふれるイメージが強い・住み続けたいまち、に魅力を感じる。・「いつまでも住み続けたい」に上尾を愛する気持ちが伝わってくるように感じる・「いつまでも住み続けたいまち」と思えることが、大事だと思いました。・元気と笑顔という言葉はやはりいいと思う・シンプルで、「元気」「笑顔」などポジティブなフレーズが良い・無難な印象は受けるが「いつまでも住み続けたい」という明確な都市像がある点は良いと思います。いろいろな観点からアプローチでき、目標達成にもつなげやすいのでは。・万人受けする感じで 安定的な目標のイメージ・抽象的だが、「いつまでも住み続けたい」というフレーズは良いと思う。	【その他ご意見】 <ul style="list-style-type: none">・“笑顔”を先にする方が良い・少し長い・無難、ただ面白みにかける。安全、安心面のエッセンスにかける。・No.5の造語を引用して「元気な笑顔あふれる 健幸都市 あげお」でもよいかと思いました。・「元気と笑顔があふれるまち あげお」の方がすっきりする。・元気でなくても良い・ふわっといていて印象に残りづらい。・ありきたり。・「元気と笑顔」は使い古されているイメージで具体的でない。・（代案）『住みつづけたい緑ゆたかな町』

○将来都市像No.2 （平均点 3.60）

みんなでつくろう 魅力がいっぱい 元気なまち あげお

意見・感想	
【肯定的なご意見】 <ul style="list-style-type: none">・常識的でありふれた表現だが安定感がある。・「協働」のイメージが前面に出ていて良い・個人社会から協働社会への対応、異文化の受入れ・「みんなでつくろう」が子供から大人、老若男女、市民一体で取り組めると感じられる。「元気なまち」も活気が感じられる。・「みんなでつくろう」というフレーズが協働をイメージしやすく、市民の方にも呼びかけている形になっていて良い。・元気なまちをみんなでつくってこうというメッセージが良い・市民1人1人が自立し、まちづくりに参加していく、その基盤の上にたった行政のリーダーシップ・平凡ではあるが、住む人の最終目標はこれでは？	【その他ご意見】 <ul style="list-style-type: none">・「みんなでつくろう」がこれから作り上げる必要があり、街が発展途上に感じるので、この文言はなくても良いと思う・「みんなでつくろ」と言い切る表現にしてもよいかと思いました・少し長い気がします・上尾市の魅力の発信に乏しい。・魅力の掘り起こしは、将来都市像に使うにはやや厳しいか。地域資源が乏しいので。・魅力がいっぱいのイメージが結びつかない。（立地はあり）快適な都市のエッセンスにかける。・「元気なまち」は目指すものの幅が広すぎてわかりにくい・協働のイメージづくりは良いが みんなでつくろうからのイメージが少し弱いと感じた・「みんなで」は声かけの様だけど、結局誰？弱い。・インパクトに欠けるように思います。

<ul style="list-style-type: none"> ・元気が出る ・4つの中では一番未来感があり、勢いが感じられる ・将来に向けて努力が一層必要と感じさせる ・その努力は続けなければならないと思う ・既存の魅力を掘り起こすことについては賛成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふわっといっていて印象に残りづらい。 ・「魅力」「元氣」という言葉からは、明確なイメージを想像しにくいのでは。 ・ありきたり
---	---

○将来都市像No.3 (平均点 3.29)

誰もが希望を持てる 幸せ実感都市 あげお

意見・感想	
【肯定的なご意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・幸せを実感ということが大切 ・希望が湧き、居住したい気持ちを高めるフレーズ ・前向きなイメージ ・「幸せ実感」できたら、本当にいいなと思います。 ・「幸せ実感都市」というフレーズがわかりやすい 	【その他ご意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・No.2と統一して「誰もが」を「みんなが」にしてもよいかと思いました ・幸せ実感する？させる？したい？できる？都市 ・今は、希望も幸せも遠いのかと思わせる。 ・固い感じ ・SDGsのターゲットを絞ることから始め、何にするか決める必要がある。 ・言葉が重い ・言葉遊びで心に響いてこない。 ・あげおに住みたいと思わせる点では平凡な表現と感じた。『幸せ実感都市』の表現も将来都市像として弱い表現と感じた。 ・希望、幸せ実感というフレーズはいいがどこかぼんやりした印象 ・現状が希望が持てていない裏返しに聞こえる ・比較でこの中だと抽象的か。 ・抽象的すぎるように思う。 ・「希望」の具体性を感じない。(明るい未来とは) ・誰もではなくみんながのほうが優しいイメージになるかなと。 ・「幸せ実感」という目標は良いが、目標とするにはハードルが高いかもしれない。 ・明るいイメージで良いと思いますが、幸せ実感は個人によるため少し押しつけがましい印象がある ・ふわっといっていて印象に残りづらい。

○将来都市像No.4 (平均点 3.53)

安心して健幸に生き続けられる 快適居住都市 あげお

意見・感想	
【肯定的なご意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・「健幸」という造語がよい。 ・この案の中ではパンチがある。「健幸」という言葉が良い。 ・1よりも更に、快適に健幸(康?)に住み続けられるが魅力的。 ・「健幸」というフレーズがよい。市の良い部分が網羅されている感じ。 ・健康で幸せを感じながら快い生活が続けられそうと感じる。 ・上尾が今後選ばれるために、目指すべき姿わかりやすく表現されています。 	【その他ご意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・「健幸」は理解するのが困難か ・「健幸」の造語に少し無理があるのでは？ ・快適居住はわかりやすいのですが、「健幸」は造語にしなくても良いのでは。 ・造語でなくても「健康」だけで幸せを表現できる。 ・健幸という造語いいと思います。住むという言葉が多いので快適未来都市はどうでしょうか。 ・No.1の要素を一部取り入れて「いつまでも安心して生き続けられる 快適居住都市 あげお」でもよいかと思いました。 ・明確なイメージは持てるが、漢字が多く、やや固い印象。 ・「快適居住都市」といういい方が硬い ・言葉が重い ・説明調である。

<p>特に造語の「健幸」は、行政くささが出ていてよいと思います。</p> <p>・安全で多世代が快適に暮らせるイメージがあり良い</p>	<p>・「快適居住都市」が入るとゼネコンのキャッチコピーのように感じる。</p> <p>・健康を害しても住み続けられるあげおが良いと思う。</p> <p>・快適居住都市の表現から あげお をイメージする点が弱いと感じる。建幸の造語も転入者へのアピールとしては弱いと感じた。</p> <p>・高齢層には良いが若い世帯にはまいちビント来ない。</p> <p>・高齢化した都市を連想してしまう。</p> <p>・安心して住み続けられるというメッセージは良いと思います。聞いた感じが少し古そうな印象がある。</p> <p>・子育ての基本は「知・徳・体」であり、この3つの基本を醸成する土台が「食育」であり、親と共に学ばなければ成果は期待できない。</p> <p>・「住み続け～」と「居住都市」が二重表現になっているので1つに。</p>
--	---

○新たな視点・観点・フレーズ

意見・感想	
<p>・『笑顔と元気があふれる安心快適（居住）シティ（or タウン）あげお』</p> <p>・語呂がいいように「“魅力がいっぱい” 上尾（AGEO）で笑顔（EGAO）」</p> <p>・Bチームの「ちょうどいいまち」を推したい。都会でも田舎でも普通の暮らしの中に幸せがある感じがして「安心」という言葉を使わなくてもゆったりした安心感が漂う。</p> <p>・『生きがいと魅力ある住みよいまち あげお』</p> <p>・『ふれあい 感動 いきいきあげお』</p> <p>・『魅力、風格に満ち 創造性豊かな あげお』</p> <p>・『暮らしの安定をつくる まち あげお』</p> <p>…「いつまでも住み続けたいまち あげお」を継続する暮らしの中に安心感を含んだフレーズにしては如何でしょうか。持続可能なまちを念頭に、基本である暮らしに焦点をあて、住み続ける魅力をイメージ。</p> <p>・助け合って生活のできるまち／みんなで進化するまち／新しい発見を体験できるまち</p> <p>・『安心と健幸 快適ベッドタウン あげお』</p> <p>※NO.4を少し変えてみました。</p> <p>…「ベッドタウン」は見方によってはマイナス表現ではあるが、以下の理由より入れた。</p> <p>①居住都市とはほぼ同義語かつ、教科書に載っている言葉で みんなが知っている。</p> <p>②自虐を受け入れ、楽しめる県民性。</p> <p>・人口減少、少子高齢化が大きな課題となる中で、市民会議、市民アンケートを踏まえたキーワードとしては、定住(住みたいと思う街)、健康（生産年齢人口の確保、元気）、子育て（環境、教育）、安心安全（災害が少ない）と感じる。その項目を網羅している将来都市像が望ましいと考える。</p>	<p>・「自然災害の少ないまち」をアピールする（安心して住める）</p> <p>・なによりも堅い・難しい言葉は使用せず、分かりやすく、親しみやすく、また抽象的な言葉は使用せず、意味がシンプルに伝わる必要がある、大切な事と思います。</p> <p>・漢字が多いので最低限に。</p> <p>・上尾の文化、伝統、歴史の基盤に立った未来という視点が大切だと思う。</p> <p>・コロナや自然災害が急増する中で、浮いた言葉で遊びのような視点・観点はやめた方が良いと思う。簡単に明瞭・端的にすべき。</p> <p>・「元気なまち」より「活気あふれるまち」の方が躍動感があってよい。</p> <p>・まちが存続して、活気づいていくには、子どもが育ち、住み続けたい、と思えることが第一に必要なのではないかと思います。虐待で子どもが命を落としてしまう今の世の中で、将来都市像として、やはり、「安心して、赤ちゃん・子どもが育っていけるまち」「安心して、子育てができるまち」ということが必要なのではないかと思います。</p> <p>・健康・協働、①の「住み続けたいまち」には、選ばれるまち、持続可能、協働の視点も感じられ、抽象的にならず分かりやすい都市像だと思う。</p> <p>・インパクトのあるフレーズ・造語が入っていると、より印象に残る都市像になるのではないかと。例えば、第4回市民会議で出た「あそび」のフレーズとか。</p> <p>・「誰もが」という表現と「みんなが」という表現があるため、どちらかに統一してもよいかと思いました。「誰もが」＝市民、「みんなが」＝市民＆行政のような区別があればこのままでよいと思います。</p> <p>・4について「安心して健幸に住み続けられる」という部分が一息で言えない長さ、ややくだい印象があるので、スリム化しても良いかと思いました。</p> <p>・「健幸」は造語なので、もともとある言葉「安心」と並列しない方が目立つのではと思います。</p>